



桜井小だより

小田原市立桜井小学校

学校だより第10号

尊徳先生の教えを胸に！未来へ羽ばたけ 桜井っ子！！ 文責 乗原 光

「まとめ」と「始まり」

2月4日に立春を迎え、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。早いもので年が明けて1か月がたち、令和7年度もゴールが見えてきました。学校では6年生を送る会に向けての準備も着々と進んでいるようです。いよいよ卒業に向けての活動もスタートしました。また、2月6日(金)には新1年生に向けての入学説明会も開かれる予定で来年度を見越した準備も同時進行で始まりました。参考までに来年度入学予定の1年生は2月1日時点で通常級・支援級合わせて68名で、通常級は2クラスになりそうです。

ここからはますます「まとめ」と「始まり」の準備の大切な2か月になります。一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



幼稚園・保育園との交流

1月19日に報徳幼稚園、28日には報徳保育園、桜井保育園、保育園大空の園児が学校にきて小学生と交流をしました。報徳幼稚園は1年生と5年生との給食での交流、他の3つの保育園は1年生と遊びでの交流となりました。コロナ禍で中止されていた行事ですが、少しずつ交流が戻ってきました。園児にとって学校という環境の中で活動をする機会を持つことで、小学校生活への期待や不安を和らげるきっかけになったと思います。小学生にとっても、この交流を通じてリーダーシップや責任感などを育むことができます。実際に、1年生は、交流の中で園児たちにやさしく接し、遊びをリードする頼もしい姿が見られました。園児にとっても小学生にとっても、この交流を通じて社会性やコミュニケーション能力を高めるよい機会になりました。



今回の交流を通じて、子どもたちは学年や年齢の枠を超えたつながりを感じ、それぞれが成長することができたのではないでしょうか。今後もこのような活動を続け、子どもたちの社会性や豊かな感受性を育てていけるよう、さらなる支援を行っていきたいと考えています。保護者の皆様にもご理解とご協力をいただきながら、子どもの成長を共に見守っていければ幸いです。

コミュニケーションの大切さ

年度末を迎え、来年度の学校経営デザインを考え、まとめる時期となりました。令和8年度の指導の重点項目は何にしていくか、今の桜井小学校の課題は何だろうかと日々、子どもたちの生活を観察しながら思考しているところです。子どもたちの様子や職員室での先生方の会話を聞いてみると課題の一つに子どもたちのコミュニケーション能力不足によるトラブルの増加があることが見えてきました。

特に最近、言葉足らず、言い回しなどの子どもたちの言葉遣いについて気になる場面が増えているように感じます。「やば(い)」「うざ(い)」といった短い言葉で気持ちや考えを済ませてしまい、本当は何を感じ、何を伝えたいのかが見えにくいことがあります。SNSなどの影響などから簡潔さが重視されていることに加え、相手の気持ちを想像したり、自分の思いを言葉で丁寧に表現したりする力が弱くなっているようにも感じます。語彙が少ないと、誤解が生まれやすく、心のすれ違いにもつながります。学校では、思いや理由を言葉で伝える指導を大切にしています。ご家庭や地域でも、会話を通して言葉の豊かさを育む時間を意識していただければと思います。

2月の行事予定

- 2日(月)学年内ふれあい給食
- 4日(水)放課後子ども教室
- 5日(木)6年校外学習(国会議事堂・日本科学未来館)
- 6日(金)就学時保護者説明会
- 10日(火)クラブ活動・なかよし活動
- 11日(水)建国記念の日
- 12日(木)委員会活動
- 13日(金)放課後子ども教室
- 14日(土)土曜クラブ
- 20日(金)教材費集金
PTA 運営委員会
- 23日(月)天皇誕生日
- 25日(水)6年生を送る会
なかよし活動

- 26日(木)学校運営協議会
ありがとうプロジェクト
- 28日(土)土曜クラブ



書初めの作品